

確かな一歩を進めるために
方喰あい子

今年から二年間、理事を引き受けさせていただきました。「入会担当」になりましたので、皆様方の身近に、入会をお勧めしたい方がいらっしやいましたら、気軽にご連絡をいただきたく、お願い致します。

私が横浜詩人会に入会する時、推薦してくださった先輩に言われたことは、①総会・新年会に出席する(年会費は当日に納める)、②横浜詩人会賞基金を納める、③横浜詩人会賞授賞式に出席する。この三点だったと思います。随分と昔日のことですが、長い間、これらを守るように努めてきました。

最近、「現代詩公開セミナー」・「夏のさかりの詩とジャズ」・「神奈川新聞への詩連載」・「ホームページの運営」等、活動の幅が広がりました。すべて、諸先輩方の熱意の結果だと思えます。皆様方の御協力を頂きながら、確かな一歩を進めるために、微力を尽くしたいと思えます。何でも結構です声を掛けていただけましたら、嬉しいです。よろしくお願い致します。

力を尽します
小林妙子

それは四年前の一月のことです。その年度の理事(当時は委員)顔合わせの帰りを一緒に帰るとき、先輩がこう言いました。「横浜詩人会は本当にいい会です」。そしてこう続きます、「詩会のために力を貸してくださいね」。連れ立つた

しともう一人に掛けられた言葉です。わずかひとりで感じとる瞬間があります。思いの込められたこの言葉の背景に、多くの先達詩人の方々が継いでこられて在る『詩人会』を実感したのである。

はからずも、今期二年またお引き受けすることになりました。微力ですが、その継ぐ任の一端を果たせよう、力を尽くします。担当は、神奈川新聞への(詩)の連載。すでに一昨年からテーマ「手紙」の掲載が始まっておりますので、それを引きつぐかたちになります。いずれ、作品をお願いすることになると思っています。その折はぜひご協力頂きますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。年間の行事を通じて、みなさまとお会いできるのが楽しみです。

新理事の抱負
西村富枝

書いて、表現して、実行する会組織と認識した横浜詩人会、その理事として二年を経過しました。残されたあと二年を経験で学んだ諸事を参考意見として生かす二年にしたいと思えます。

地球上の悲惨と偉大と人類における矛盾を直視して、抽象性にあるいは具象であれ繊細な心情を持つて詩表現する精神を欠かすことのない、しかも実生活に支障を来たさないように、同時進行で会の活動を担えるようにすることが次へ続く理事さんを受けて頂き易くすることだと思えますから。

神奈川新聞掲載詩の担当をさせていただきましたが、それぞれ会員の方とお話が出来ることがありましたのも、一段と詩人会に愛情が持てたような気がしています。籠もって書いていくだけでなく人と接したり、見聞を広めたりが気軽に出来る、しかも実りになる会でありたいと思えますので、責任も感じますが、会員の方々の反応をお借りして、他の理事さんの手伝いに努めたいと思えます。

魅力ある催しは
広瀬弓

横浜詩人会に入会して八年位経った。総会と興味あるイベントだけ参加していた気楽な会員の私だが、今回理事に選んで頂き、微力ではあるがお役に立ちたいと引き受けさせてもらった。

まだ会員でなかった頃、初めて参加したのが現代詩研究会「エルヴィス／詩／場所」中上哲夫氏と水野るり子氏の対談だった。それぞれのエルヴィスへの思いから詩とは何か、詩の書かれる場所とは、などの問題に踏み込んでいく話は、詩の書き手にも読み手にも興味の尽きない内容であった。有意義な時間の共有を感じた私が、その後入会したのは言うまでもない。

魅力ある催しは詩人や会員相互の親睦を深める。そして内外に詩人会を広め、新たな会員を呼ぶ原動力になる。つまり詩人会の、ひいては現代詩の普及と発展に貢献すると思う。そんなことを考え、現代詩セミナーの担当になった。前期から引き続きの上会長と油本理事長の元、先輩理事を見習いながら力を尽くしたい。

新理事の抱負
日野零

今日は二月十六日、「総会・新年会」の翌日です。昨夕どうやって桜木町から帰って来たか、思い出せません。ただ、玄関で靴を脱いだ時に、「疲れた」と呟やいた事は覚えていません。酒に酔って、

どうやって家に帰ったのか思い出せない事は過去にもあります。一度は、負けてばかりの私の草野球チームが、若くて、野球経験のあるキャッチャーが入部したのをきっかけに、一年間ほとんど負けなかつたその年の、野球部の忘年会です。もう一度は、私の詩集「彩りをとどめて」が出来た事を「青焰」の皆が祝ってくれた時です。理事

になって二年、昨年は体調が良くなり、「決算書・予算書」を作るにも少し苦労をしました。昨年は前日の大雪で、「総会・新年会」に参加出来ませんでした。そんな訳で二年分の仕事のメです。体組成計に乗ったら、体重が減り、体脂肪率も下がっていました。運動した翌日の様です。「疲れた」訳です。何であれ、外での深酒は控えないと。任期が二年あります。

インターネットを起点に
光富郁棊

この度、横浜詩人会の通信(会報)とホームページの担当になりました。インターネットを起点に新たにやりたいことを記します。

それは横浜詩人会のホームページと通信の連動です。通信を、ホームページから閲覧できるようにします。ホームページに「横浜詩人会通信(会報)」のページを作りました。(下段の告知欄参照)

インターネットの環境とパソコン、タブレット、またはスマートフォンなどがあれば、会員や関係者以外の方にも、横浜詩人会の活動や情報を知ってもらうことができます。これを発展させれば通信の電子書籍化も可能です。また詩書や詩誌を掲載する手順を見直したり、イベント告知欄に通信担当者の記事を転載したりします。通信担当は通常2名ですが、今回は光富1名となりました。企画を理事会で図ったり、校正をほかの理事に頼んだり、イベント撮影や会報発送などのサポートを会員に頼んだりすることもあります。ご理解・ご協力をお願い致します。

【ホームページで通信(会報)を閲覧できます】

まだテストですが、293号の内容をpdf版にて閲覧することができます。
<http://yokohamasijinkai.web.fc2.com/tsusin.html>

個人情報問題がありますので、事務局と発行者以外の会員の住所や電話番号などは伏せますが、ほぼ会報を印刷所で刷るそのままの状態で見ることが出来ます。今後はホームページでも会報をお楽しみください。

【ホームページで詩書や詩誌を掲載する手順について】
詩書や詩誌の掲載については、いままでは作者に掲載の承諾を先にいただいていたのですが、これからは、ホームページ掲載後に、作者に連絡をとるようにします。このことにより、作業の簡略化となり、時間と手間が少なくなり、よりスムーズに紹介ができるようになります。ただし、何らかの事情により掲載を承認できない場合には、その旨を連絡いただければ、速やかに本や詩誌の情報を削除致します。

会員募集中!
横浜詩人会に入会ご希望の方・ご紹介の方はご連絡を。詳細は油本達夫理事長または方喰担当理事まで。
〒220-0054 横浜市西区境之谷 30-19
電話 045 (516) 3182
メールアドレス : ta_beat@kni.biglobe.ne.jp
ホームページで入会申込書をダウンロードができます。
<http://yokohamasijinkai.web.fc2.com/>

会員消息 順不同・敬称略

【詩書】

『誰かに手渡したくて』

方喰あい子（土曜美術社出版販売）
2014年11月15日刊

『言葉の海』うめだけんさく
（第7次ネプチューンシリーズ1）
2014年12月10日刊

『光から届く声』今泉協子
（土曜美術社出版販売）2014
年12月25日刊

『豺（ヤマイヌ）』光富郁埜
（狼編集室）2014年12月25日刊
（狼編集室）2014年12月25日刊

『遠い声』疋田澄（第7次ネプチュ
ーンシリーズ2）2015年2
月23日刊

【会員編集・発行の詩誌】

『詩人の輪通信』42号 編集
木島章

『進化論』18号 発行 佐相憲一
『地下水』214号 発行
保高一夫

『ドルフィン』創刊号 編集発行
広瀬弓

『Down Beat』5号 発行
柴田千晶

『ウミツバメ』5号 発行 今鹿仙
『伏流水』52号 発行
うめだけんさく

『パレット』8号 発行

植木肖太郎

『コールサック』81号 編集
佐相憲一

【会員の作品発表誌】

『詩人の輪通信』42号
うめだけんさく 大石規子

奥津さちよ 佐川亜紀 佐相憲一
『微』11号 石原武

『詩的現代』第二次11号
岡部淳太郎 福原恒雄

『青い花』第四次79号
相良蒼生夫 平田好輝

『風のたより』8号 馬場晴世
『禾』29号 細野豊

『地平線』57号 中村吾郎
『竜骨』95号 奥津さちよ

小林妙子

『ガニメデ』62号 佐伯多美子
関中子 谷岡亜紀 弓田弓子

『歷程』591号 田村雅之
『洪水』15号 金井雄一 柴田千晶

『地下水』214号 石原妙子
方喰あい子 林柚維 関中子

『アダムサイト』27号 中上哲夫
『Down Beat』5号 今鹿仙

金井雄一 徳弘康代 中島悦子
『ウミツバメ』5号 浅野言朗

『モーション』30号 長田典子
森岡美喜

『伏流水』52号 西村富枝

『こだま』45号 奥津さちよ
小沢千恵 絹川早苗

『花』第62号 田村雅之 下川敬明
『回游』52集 関中子 鈴木正枝

『パレット』8号 疋田澄 関中子
『潮流詩派』240号

植木肖太郎
『コールサック』81号 洲史

山本聖子
『詩と思想』3月号 進藤友佳

『PO』156号 佐川亜紀
関中子

『いのちの籠』第29号 中村純
馬場晴世 佐相憲一 佐川亜紀

渡辺みえこ 梅津弘子 関中子
奥津さちよ

【その他】

『広瀬弓』12月14日つきYASS
ぎやらりー若松屋にて開催の詩劇

『洪水伝説（稽古篇）』に朗読出演。
佐川亜紀 12月21日神奈川新聞社
会面で韓国「昌原KC国際詩文学

賞」受賞を紹介される。
村山精一 企画・運営 第19回西

さがみ文芸展覧会 特別展
「湯河原の生んだ俳人父娘 黛

執・黛まどか展」3月4日〜3月
9日 小田原銀座通り 伊勢治書

店3階 ギャラリー新九郎にて。

光富郁埜 12月20日、羊と狼の詩
の講座（第2回）、3月7日、羊と
狼の詩の会（改題・第3回）海老
名市文化会館にて合評会を実施。

【会員転居】
五十嵐健一

編集後記

通信・HPでは、随時会員の情報
を募集しています。担当・光富まで
お気軽にご連絡ください。（光富）



イベント前の静寂

詩人会創立 1958年10月25日
通信創刊 1961年2月10日
会員数 130名（4月1日）